

## 再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	道路事業（道路改良事業）					
地区名	一般国道 473 号（和合拡幅）					
事業箇所	愛知県豊田市黒坂町～神殿町					
事業のあらまし	<p>国道 473 号は、愛知県蒲郡市から豊田市、新城市を經由し、静岡県に至る延長 265km の路線であり、新東名高速道路などと接続する三河山間部の重要な路線である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられ、防災上重要な路線でもある。</p> <p>当該事業区間は、線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、円滑な交通の妨げとなっている。</p> <p>このため、「山間や離島などの暮らしを支える基盤整備」、「地震・津波対策の強化」を主な目的として、当地域の交通の円滑化、そして大規模災害時等に高規格道路等へのアクセス性を向上させて円滑な救護・復旧活動を行うため、一般国道 473 号の道路拡幅事業を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>(1) 間や離島などの暮らしを支える基盤整備</p> <p>(2) 地震・津波対策の強化</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (H18)	再評価時 (H23)	再々評価時 (H28)	変動要因の分析	
	事業期間	H19～H22	H19～H34	H19～H37	地元調整のため	
	事業費（億円）	11.3	11.8	14.8	事業精査による増額	
	経費内訳	工事費	10.5	10.5	10.5	
		用補費	0.8	0.8	2.3	事業精査による増額
その他		0	0.5	2.0	事業精査による増額	
事業内容	道路拡幅整備 L=3, 100m W=11m 2車線	道路拡幅整備 L=3, 100m W=11m 2車線	道路拡幅整備 L=3, 100m W=11m 2車線			
II 評価						
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	<p>【事前評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業区間は、線形が悪く、狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であることから、三河山間地域における円滑な交通の妨げとなっている。また、歩道も整備されておらず、歩行者の安全性の確保も課題となっている。</li> <li>一般国道 473 号は第二次緊急輸送道路に位置づけられている。</li> </ul> <p>【再評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事前評価時より大きな変動はなく、依然として線形が悪く狭隘な区間で車両のすれ違いが困難であり、歩道も整備していないことから、必要性は高い状況である。</li> </ul> <p>【再々評価時の状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再評価時より大きな変動はなく、円滑な交通と歩行者の安全性が確保されていないことから、必要性は高い状況である。</li> </ul> <p>【変動要因の分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該区間は再評価時の状況に変動要因はなく、引き続き整備の必要性がある。</li> </ul>				
	判定	B	<p>A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。</p> <p>B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。</p> <p>C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p>			

②事業の進捗状況及び見込み		<p>【理由】</p> <p>依然として、円滑な交通が確保されておらず、事業の必要性が高いため。</p>																																																																																																																																											
	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H19~H22</th> <th>H22~H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>H31</th> <th>H32</th> <th>H33</th> <th>H34</th> <th>H35</th> <th>H36</th> <th>H37</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="2">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td colspan="3">←→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td colspan="11">←→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td colspan="3">5.2</td> <td colspan="4">4.8</td> <td colspan="2">1.8</td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>1.4</td> <td colspan="3">3.0</td> <td colspan="4"></td> <td colspan="4"></td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td colspan="3">4.4</td> <td colspan="4">5.2</td> <td colspan="4">5.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>【進捗率】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成率(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.7</td> <td>0.7</td> <td>100.0%</td> <td>3.1</td> <td>22.6%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>5.2</td> <td>4.4</td> <td>84.6%</td> <td>14.8</td> <td>29.7%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>0.9</td> <td>0.9</td> <td>100.0%</td> <td>10.5</td> <td>8.6%</td> </tr> <tr> <td>  用補費</td> <td>2.3</td> <td>1.6</td> <td>69.6%</td> <td>2.3</td> <td>69.6%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>2.0</td> <td>1.9</td> <td>95.0%</td> <td>2.0</td> <td>95.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・用地進捗率(面積ベース)は、約36%</p>			H19~H22	H22~H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	工種区分	調査・設計	←→													用地補償		←→												工事			←→											事業費(億円)	前回計画	5.2			4.8				1.8						実績	1.4	3.0											今回計画	4.4			5.2				5.2					これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.7	0.7	100.0%	3.1	22.6%	事業費(億円)	5.2	4.4	84.6%	14.8	29.7%	工事費	0.9	0.9	100.0%	10.5	8.6%	用補費	2.3	1.6	69.6%	2.3	69.6%	その他	2.0	1.9	95.0%	2.0	95.0%
			H19~H22	H22~H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37																																																																																																																														
	工種区分	調査・設計	←→																																																																																																																																										
		用地補償		←→																																																																																																																																									
工事				←→																																																																																																																																									
事業費(億円)	前回計画	5.2			4.8				1.8																																																																																																																																				
	実績	1.4	3.0																																																																																																																																										
	今回計画	4.4			5.2				5.2																																																																																																																																				
	これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																									
	計画【①】	実績【②】	達成率(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																								
延長(km)	0.7	0.7	100.0%	3.1	22.6%																																																																																																																																								
事業費(億円)	5.2	4.4	84.6%	14.8	29.7%																																																																																																																																								
工事費	0.9	0.9	100.0%	10.5	8.6%																																																																																																																																								
用補費	2.3	1.6	69.6%	2.3	69.6%																																																																																																																																								
その他	2.0	1.9	95.0%	2.0	95.0%																																																																																																																																								
2) 未着手又は長期化の理由	<p>・公図の不整合が多い区域があり、土地の境界確定に時間を要したため。</p>																																																																																																																																												
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】</p> <p>・地元自治体より早期整備が要望されており、大きな阻害要因はない。</p> <p>【今後の見込み】</p> <p>・公図の不整合が多い区域があり、土地の境界画定に時間を要したが、地権者との調整にも目途がたったため、平成37年までに整備が完了する予定である。</p>																																																																																																																																												
判定	<p><b>B</b></p> <p>A: 事業は順調であり、計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B: 次のいずれか(該当する項目に「○印」を付ける)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C: 阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																																												
	<p>【理由】</p> <p>公図の不整合が多い区域があり、土地の境界画定に時間を要したが、地権者との調整にも目途がたち、事業期間を延伸した平成37年までに整備完了が見込まれるため</p>																																																																																																																																												
Ⅲ 対応方針																																																																																																																																													
継続	<p>中止: 上記①~③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続: 上記以外のもの。</p>																																																																																																																																												

#### IV 再評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度